

産業廃棄物処理計画作成（変更）報告書

令和5年6月29日

（宛先）

埼玉県中央環境管理事務所長

報告者 氏名又は名称及び住所 株式会社 フコク

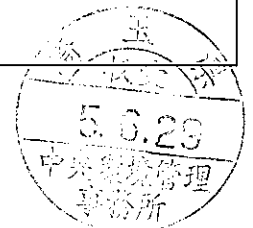
並びに法人にあつては 埼玉県上尾市菅谷3丁目105番地

その代表者の氏名 代表取締役社長 大城 郁男

（電話番号 048 - 773-5611）

令和5年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	株式会社 フコク 上尾工場
事業場の所在地	埼玉県上尾市菅谷3丁目105番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
変更の概要	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	工業用ゴム製品製造
② 事業の規模	2,040百万円
③ 従業員数	349名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物⇒収集運搬・中間処理⇒最終処分（リサイクル）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項											
(管理体制図)											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">(経営責任者)</div> <div style="margin-left: 100px;">工場長</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理委託先の選定及び実績管理 ・ 委託業者適正処理の確認 ・ 分別収集、保管に関する従業員指導 ・ 保管場所の管理 ・ 保管施設の維持管理 										
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">業務管理G長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">製造各G長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">設備G長</div>										
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">産業廃棄物の種類</td> <td style="width: 35%;">木くず</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">✓</td> <td style="width: 20%;">廃油</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">✓</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>12.2 t</td> <td style="text-align: center;">✓</td> <td>59.0 t</td> <td style="text-align: center;">✓</td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	木くず	✓	廃油	✓	排出量	12.2 t	✓	59.0 t	✓
	産業廃棄物の種類	木くず	✓	廃油	✓						
	排出量	12.2 t	✓	59.0 t	✓						
(これまでに実施した取組) ○総排出量3%削減を目標に活動を進めてきた ＊木くず・廃油 有価物											
② 計画	【目標】										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">産業廃棄物の種類</td> <td style="width: 35%;">木くず</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 10%;">廃油</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>11.8 t</td> <td></td> <td>57.2 t</td> <td></td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	木くず		廃油		排出量	11.8 t		57.2 t	
	産業廃棄物の種類	木くず		廃油							
	排出量	11.8 t		57.2 t							
(今後実施する予定の取組) ○総排出量3%削減を目標に活動を継続する 【個別産廃の重点活動目標】 ＊バイオマス発電の材料や助燃材としての売り込み											
産業廃棄物の分別に関する事項											
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ＊木くず、廃油 ＊分別の教育、啓蒙										
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ＊木くず、廃油 ＊分別の教育、啓蒙										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥
	全処理委託量	211.5 t	7.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	77.1 t	6.9 t
	再生利用業者への処理委託量	211.5 t ⁰	6.9 t ⁰
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ○再生利用、熱回収、資源回収等のリサイクル処理推進と有価引取り		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥
	全処理委託量	205.0 t	7.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	75.0 t	6.7 t
	再生利用業者への処理委託量	0 -205.0 t	0 -6.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ○再生利用、熱回収、資源回収等のリサイクル処理維持向上 ○優良認定処理業者へ委託		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当たっては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
 - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記載すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載すること。
- 3 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量及び自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 4 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第300号）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量並びに認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「―」を記載すること。
- 6 ※印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。